

# From 4 4つのセクションから

【NPO法人ぱれっと <http://www.npo-palette.or.jp>】

## たまり場ぱれっと

<http://www.npo-palette.or.jp/tamariba/>

～ヒップホップダンス教室  
新しい仲間急増中！～

毎月2回、平日の夜に行なっているヒップホップダンス教室。現在、同じ恵比寿に本社を構える会社、アイ・ティー・シーネットワーク株式会社の社員の皆さんのが入れ替わり立ち代わり毎回5～8名参加して下さっているので大人数で楽しくレッスンしています。毎回初参加の方が多く来るので、新しいレッスン仲間が増え、前から参加していた参加者達のモチベーションも高まっています。中には、レッスンが始まる前の時間に張り切って初参加の人にステップを教えている姿も。「これがボックスです！」「練習すれば出来るようになりますよ！」と楽しそうに(得意げに?)ステップを教えてます。上手く踊れる踊れない関係なく、リズムにのって踊ることの楽しさをたくさんの方達と共有しながら、これからも交流の輪を広げていきたいですね！ (そうき)



【皆さん、真剣にレッスン中！】

## おかし屋ぱれっと

<http://www.okashiya-palette.or.jp/>

～作業所見学やセミナーに  
参加しています～

ぱれっとつうしんでも何度かお伝えしている通り、4月から障害者総合支援法に即した就労継続支援B型の施設に移行します。移行にあたり通所員の人数が増え、障害の重い方も通所して来ますので、職員体制や支援の仕方も変わってきます。その為、職員は就労継続支援B型の施設に研修や見学に行き、セミナーや講演会に参加しています。施設見学では通所員の方と一緒に作業をさせてもらい、作業の様子や職員の対応の仕方、支援の仕方などを見学します。現在、障害の重い方がいない為、対応面で未知であり、受け入れるにあたり不安な点もありました。仕事として重い方が出来る作業を実際に見ることは、今後の支援の仕方の参考になります。また、今まで自分達の現場で自分達なりの支援の仕方をしてきましたが、見学する事により、今後の理解と新たな支援方法を考えるいい機会となりました。また、新しい動きでまだ不安な部分もありますが、覚悟を決めて進みましょうと職員間で共通認識が持てた事も大きな収穫となりました。(みうら)

えびす・ぱれっとホーム  
～法人ホームページ内にて公開中～

みうら  
～アルバイトの三浦さんが  
りゅうがく  
留学します～

ホームのアルバイトの三浦玄也さんがオーストラリアに留学することになりホームで壮行会を行ないました。三浦さんから留学の抱負を寄せていただきました。

「ぱれっとホームにて 2011年9月からお手伝いさせていただいている三浦です。この度今年3月から、オーストラリアに1年間留学させて頂くことになりました。この留学を通してグローバル化が進んでいるこの世の中に対応できるようになるのはもちろん、自分自身の積極性を上げるなど様々な目的を持っていました。ぱれっとでも国内だけでなく海を越えて活動することが増えてきています。留学から戻ってきたら、そのようなところで貢献できるのではと思っています。1年後大きく成長した自分をぱれっとの皆さんにお見せできたらと思っています。日本から応援していただけると幸いです。」

(ひろはし)



【乾杯！！ いってらっしゃい】

ぱれっとインターナショナル・ジャパン  
～法人ホームページ内にて公開中～

かいぎ はっぴょう  
～アジア会議で発表します～

先月号でもお伝えしましたように、隔年開催されるアジア知的障害会議では、障害のある参加者が発表できる分科会が設けられています。10月にインドで開かれる会議では、たまり場ぱれっとの利用者である安田恵さんが応募し、「差別の無い社会」というテーマで発表することになりました。(詳細は12ページをご覧ください。)

近年、知的障害者が自分の言葉で直接意見を述べる場が増えました。これまで、彼らには代弁者が必要だという周りの思いこみが当事者の発言を阻んでいたのですが、自分たちのことは自分たちで決めたいという勇気ある表明を受けて、ぱれっとも積極的に応援しています。アジア会議でも、発表したいという希望者が年々増えています。

18年前に私がインターーンとしてニューハンプシャー州に滞在していた時に、当事者が運営している会議に参加しました。その会議で、幼少期から成人まで1600人収容の施設に入所していた一人の女性が、「私たちの眞の自立は、地域で暮らすことです！」と力強く訴えていた姿に感動したことを思い出します。

(たにぐち)